

笑顔・交流・次世代へ繋ぐ地域の輪

## ふれあいマルシェ in 山倉大神

9月24日(日) 猛暑日が続く中、久々に気温も下がり薄っすら曇り空の下、山倉大神に続々とキッチンカーが集結。狭い境内に、それぞれ趣向を凝らした29店舗・・・良くもこんなにキッチリと並んだものか？店舗代表の方々が何度もシュミレーションし準備をしての事と感心し、有難く思いました。

開始と同時に人出が増え、早くもお店の前には沢山の人の人・人・人。当日限定「鮭の御朱印」を求める長蛇の列には、整理券が出されました。

神楽殿で、山倉の神楽・大角の芸座・ソプラノ独唱・吹奏楽・和太鼓等が披露される頃には、用意されたテーブル、椅子は満席に!!この光景は数十年前の祭りの賑わいを思い出しました。

ゲームや手芸品、手作りお菓子等沢山買い求め、お腹もいっぱい。終盤の舞台では、若いミュージシャンがラップを熱く歌い、お客さんもタオルやうちわをフリフリでノリノリ。楽しい一日でした。



一志会による抽選会



当たり!!



お茶のおもてなし



ふれあいマルシェ in 山倉大神



## 高齢者お楽しみ会 10月1日(日)

テラス・サンサンで『高齢者お楽しみ会』が開催されました。落語研究会「縁」による香取寄席<sup>えん</sup>や笑いヨガで心と体もほぐれ、和太鼓「香音」<sup>かのん</sup>の演奏と参加のみなさんによる山田音頭やカラオケも披露され、美味しいお弁当を食べながら語り合い、楽しい一日となりました。



## 菜の花交流会 11月24日(金)

山倉第二保育園のお遊戯会に、75歳以上の高齢者と園児の祖父母が招待され、『菜の花交流会』が開催されました。

園児が色とりどりの衣装に着替え、次々に舞台上に上がると、招待者からは「わあ、かわいい」「難しい曲を良く覚えたねえ」「上手だったよ」等々の声があがり、その声に園児もはにかんだり満面の笑みを見せたりと、笑顔の交流ができました。



園児からプレゼントの手渡し  
「はい、どうぞ」「ありがとう」



休憩時には「山田音頭」で手足をリラックス



# みんなの家

お正月のフラワーアレンジ 12月25日(月)

参加した皆さんが持ち寄ってくれた沢山の  
蠟梅・南天・千両・菊等々に、会で用意した  
松を加え、思い思いに活けてゆく。仕上げに  
金銀・紅白の水引飾りを添えて完成です。

この日は、クリスマス🎄ケーキとノンアル  
シャンパンで乾杯🍷お疲れ様でした。



## 大角よもぎの会 12月18日(月)



『よもぎの会』のクリスマス会が、大角青年館で行われました。

皆さん久しぶりに顔を合わせ、お互いに近況報告をしたり健康への気遣いを話したり楽しく話が進んでいましたが、会のこれからについて話し合われると、当時をふり返り「あの頃は手作りのごちそうを皆で食べたなあ」「ませご飯も赤飯も美味しかった」「なすの漬物が上手に漬かってたなあ」と、懐かしい話に花が咲き楽しい時間を過ごしました。なかでも、発足者の林静子さんが作った草もちちは、よもぎの香りがしてとても美味しかったとのことで、会の名称もここからきたそうです。

このように『よもぎの会』は始まったのですが、  
存続していくために、手作りから市販の弁当や惣菜  
に変えるなど、時代に合わせ、いろいろ改革や工夫  
をしながら平成17年から20年近く続けられてきました。

しかし、参加できる高齢者の方が年々少なくな  
ってしまいましたので、発足当初からの皆さんと話し  
合い、とても残念ですが、令和6年3月で閉じるこ  
とになりました。

大角よもぎの会 会長 曳地 君子





# 地域で頑張る仲間たち

## 山倉テニス会

発足40年以上となる山倉テニス会。会員(会長 宮崎昉さん)の皆さんも70~80歳、現在7名が毎週火曜日午後1時30分から、山倉運動広場(山倉中跡地)で、心地良い汗を流しています。

お訪ねしたのは12月12日。午前中雨が降りコートにぬかるみのある中、砂を撒き、ブラシローラーで均し、ウォーミングアップを兼ね軽く打ち合う。ジャンケンでダブルスの試合開始「どっこいしょ」「おーくちい」??の言葉が時折発せられるものの、足取り軽くラリーが続いている。

後日、どのような経緯でこの会ができたのか、発起人の一人でもある武田日出夫さんに、お話を伺いました。

『昭和59年頃山倉小学校PTA会員の中に、中学生時代テニス選手として各種大会で活躍した人が多くいて、その一人、多田庄一郎さんの「みんなでテニスをやらないか?」の声掛けに10名程が集まり、月1回のペースで始めた。その間には、町に要望し現在地にテニスコートが整備されました。活動面では、近隣中学へ出向き、中学生と交流試合をしたりと75歳まで続けました。』と懐かしく話してくれました。



### 編集後記

元日に起きた能登半島地震。連日テレビから心痛む映像が流れる中、それでも支援物資が続々届く、県外や外国からの応援が入ったとの報道に少し安堵する。現場に行くことが出来ない私たちが、どんな応援ができるか、考えたいと思った。

災害はいつ自分たちに起こるか分かりません。災害当初一番に力になるのは、近所や地域の助け合いではないでしょうか。地域を知る、地域と繋がることに、この広報が少しでもお役に立てればと願っております。

広報紙等発行実行委員会 奈良美智子 奈良律子 佐藤恭子 木内美枝子

